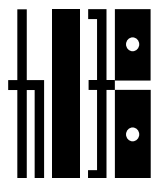


かとも図

November 2024

特集 中津川市長

小栗仁志 中津川市長ってどんな人？



SINCE 2005
Vol. 235
monthly issue

小栗仁志

中津川市長ってどんな人？



子どもの頃は何かスポーツをしていましたか？

子どもの頃は中津川市街の新町で育ちました。学校終わりに皆んなで野球やったりサッカーやったりしてました。中学・高校はバスケットボール部でした。

大学時代はスキューバダイビング部に入っていました。これはやっぱり海なし県で生まれ育っているからっていうのはあったと思いますよね。部活だったから機材も借りれたし、結構真剣にやっていた月一回ぐらいは伊豆に潜りに行っていました。バイト代を貯めて夏休みには宮古島なんかにも行きました。世界の海に転々と行ってるわけじゃないからわかりませんが、宮古島の海はすごく綺麗だと思いました。社会人になってからも少しやりましたが、今はまるっきし潜らなくなりました。

海への憧れは岐阜県人ならではの家族構成を教えてください。

家族は妻と娘二人です。中学生の娘たちとは仲良いと思いますよ。子どもと私だけで出かけたりのしています。でも、家族でこないだ話してたんですけど、どれだけ父親が頑張っても母親には敵わないって。娘たちは私が家にいなくても「今日、パパは？」って聞かないけど、妻がいないと「ママはなんでもないの？」って聞いてきます。母親にはどこまで行っても敵わないだろうなって想いもありますよね。全然それでいいんですけどね。

昨年度まで教育委員会で教育委員をさせていただいたので学校訪問したりしました。今の子は皆んな良い子ですよ。思春期で難しい年頃でも可愛いもんです。私の娘も「私、思春期だから」って自分で言いますからね。我々の子どもの頃のことを思えば可愛いもんだし、真面目だと思えます。

市のHPに趣味は靴磨き、庭いじり、旅行とありました。靴磨きって面白い趣味ですね。

元々靴が好きなんです。始まりは妻（その当時は結婚前に三十年ぐらい前にいただいた靴で、それを手入れしながら未だに履いています。その後もプレゼントしてもらったもの

を含めて4足ぐらいかな。丁寧に手入れすれば履けるので。モノを大事に使うというのが結構好きで、そのひとつが靴ですね。

靴磨きをしていると無になれるっていうか、没頭できるっていうか。いろんなことを考えずにそのことだけに集中する時間が結構好きです。やりだすと結構時間がかかるので、休みの日にまとめてやります。ついでに家族の靴とかも手入れしたりして。没頭する時間が好きだから、同じ理由で庭の手入れなんかも好きです。草取りだとか庭木の手入れだとかも色々考えずにできたり、逆に集中して考えることができたりしますから。こつこつ作業はやればやるだけ、草を取れば取っただけ綺麗になって成果が出るから気持ちいいですよ。草はまたすぐに伸びますけどね。

コツコツとした作業に没頭するのが好きというのはお人柄が表れてますね。もう一つの趣味の旅行について面白いエピソードはありますか？

大学時代はアルバイトでお金を貯めて、何に使うかという旅行に使うみたいな感じでした。大学の卒業旅行で、世界一周チケットという格安チケットで四十日間ほどの旅に出たんですよ。西回りというルールがあるチケットでした。

日本からシンガポール、そしてヨー

ロッパへ。ヨーロッパは電車と車でぐるぐると回って、その後ベルギーからニューヨークに渡ったところでハブニングが起きました。なんとバスボートの期限が切れちゃってたんですよ。まだ有効期限があると思い込んでたんです。本当に完全に思い込みです。ベルギーは出国できたんですけど、ニューヨークで「入国できない。戻れ。」って言われました。でも、東には進めないで、そういう話をして、結局ニューヨークの空港で一日拘束になりました。それで、ちょっと罰金を払って入国だけはさせてもらえました。すぐに領事館に行って一回だけ有効の紙切れのパスポートを発行してもらえて。それで無事にアメリカ国内を旅行してロサンゼルスから日本に帰国しました。

よくアメリカに入国できましたね。寛大な処置に感じます。

本当に寛大な対応で、日本国パス



ボートの力を感じました。他にもちょっと危ないこともありましたけど、今思い出せば楽しかったです。国内・国外に関係なく他の土地に行くってことが刺激になるし、その土地ならではの食べものも楽しいですね。

その後、仕事を始めてからもLPガスの仕事をしていたので、産油国を見に行くだとか国際会議なんかで中東に行ったりしました。カタールとかクエートとか、なかなか行けないところに行けたのもいい経験でした。

加子母の印象を教えてください。

教育委員をさせていただいた時に加子母中学校の立志式に参加させてもらったことがあります。あれはやっぱり印象深いです。良い会だなって思いました。十五歳のこれから大人になるという時に、自分はこの道に進んで行きたいっていうことを見つめるという機会があるということが素晴らしいです。他の地区ではやらないと思うので全市で取り組んでみたらいいなと考えています。

対話集会の開催回数も全市の中で加子母地区が一番多いんです。やはり郷土愛というか地元をよくしたいという思いが強い方が多いと感じています。また機会があることに訪れたと思っています。

本日はありがとうございました。

（取材：秦、田中）

Note

キヅキノート 佐野智哉



最近、息子の日課は、月の観察。だいたい同じ時間に眺めるのですが、毎日見える位置も形も異なります。月の満ち欠けは、当たり前のことなのですが、改めて一緒に観察してみると毎日違って見えることが不思議に感じてきました。地球が太陽の周りを回っていること。その地球の周りを月が回っていること。朝と夜があることや四季があること。

それらの動きをずっと繰り返している中に暮らしているので、何も気にせずに生活していますが、これらのサイクルが絶妙なバランスで保たれていたのだと改めて感じられました。暑さや雨が増してもきましたが、上手に付き合いながら暮らしていけたら良いと思います。

Note

わが家のPet! 福井 理江

小和地 かめっち



オレは加子母の総合事務所の中にある池で爆誕した。ご主人にピカピカにキレイにしてもらったから、かっこいいだろ!!
ご主人の家に来たときは、体長が6cm位で今は2倍の12cmに大きく成長した。ネコたちがオレを気になって

水槽の蓋を空けるとすぐ中に入って遊ぼうと言うんだ。亀親戚?兄弟がいるんだがみんなこのお家に行ったんだ。知っているひとがいたら教えてくれないか?よろしく頼むよ気になる。実は、昨年兄弟が来たんだが冬を越せずにお空にいってしまっって淋しい。

Times

かしもっ子タイムズ 丹羽淳一

消えては生まれる執着と感謝

小郷では朝晩が冷え込んできて、暖房が必要な日も出始め、庭の柿の木も熟れて秋の訪れを感じる時期になった。そんな中、風邪を引いてしまった。高熱と激しい喉の痛みの中、自己隔離をしながら眠る日々が続いた。浅い眠りに落ちる度、ジャンプで連載再開したハンター×ハンターの王位継承戦の夢を何度も見た。悪夢を変えたくて、読書を試みるも体調が悪くて本を閉じるしかなかった。何もできず天を仰いでいると、執着心や欲が消え感謝の気持ちに満たされていった。家族や職場、友人、美しい秋の空に感謝する心が溢れている。部屋の入り口を見ると、娘が心配して飲み物を置いてくれたこ

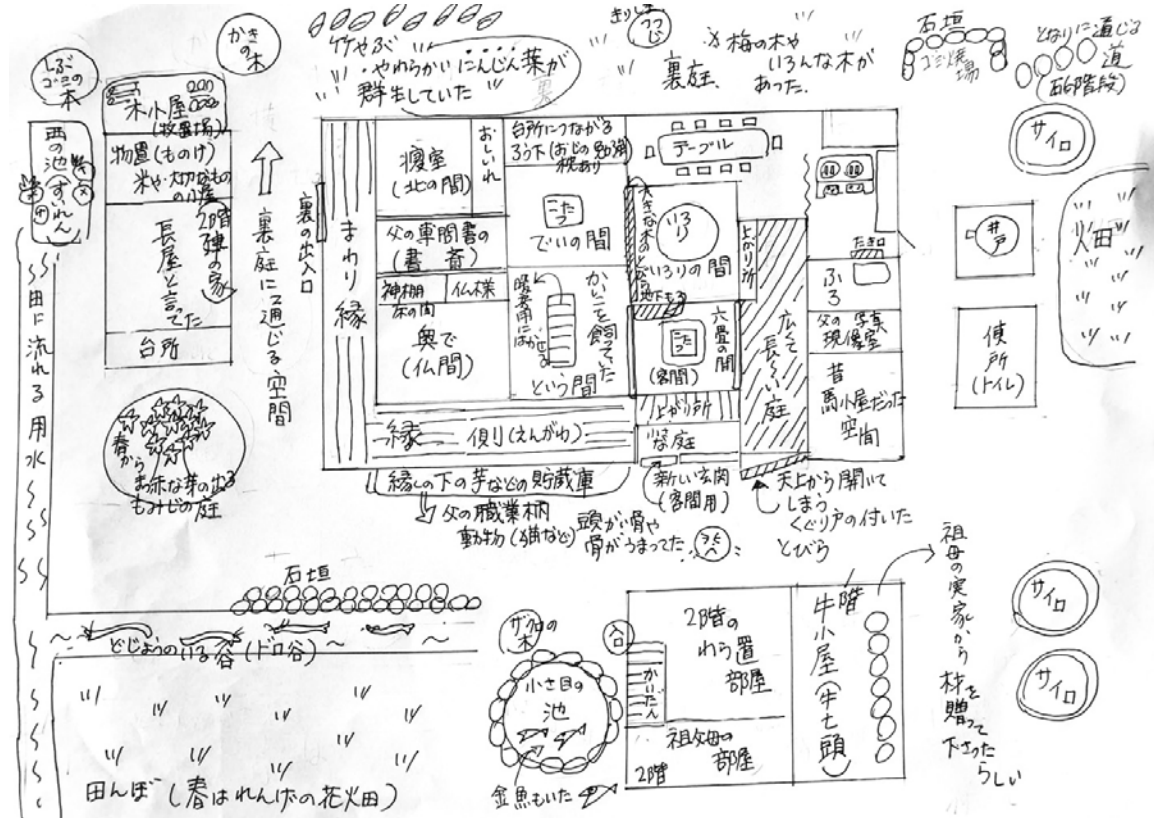
とに気づく。『風邪が治ったら娘の好きな庭の柿でも取ってやらねばなるまい。』と考えていると、窓の外に5羽のモズが現れた。悪さをするので好きでない鳥だが、病気の私を励ましに来てくれたと感じ、感謝と愛情を込めて手を振ると、彼らは一斉にフンをし飛び去り、私が娘に取らせたいと思っていた柿を食べ始めた。許すまいと外に出て思わず追い払うが、その瞬間に少し元気が戻ったことを実感した。執着も生きる上で大切な感情であることを再認識する瞬間となった。

Memoirs

小さな頃の記憶の話 粥川孝美

私の家は、当時(昭和30年代)、築80年過ぎたぐらいの家で、本屋、長屋(親戚家族に貸していたらしい)七頭の乳牛を飼っていた牛小屋…
家の庭には、盆栽が大きくなった様な紅葉の木(この木は何故か、春に真っ赤な新芽をつけた)縄をぶら下げ、私達のブランコ遊びの木だった、裏庭には、祖父の自慢の桐島ツツジ(家族で花見をした)表庭正面には、小さな池…(お祭りの金魚を放した)その池の側には、立派なザクロの木、そして家の西には大きな池があり、睡蓮が咲き、ここには鯉が飼われていた。沢山の田畑もあったけど戦後、桑原の保様(当時、県会議員だったらしい)の加子母の産業プロジェクトで乳牛を始めようと言う事で加子母乳牛第1号の三頭を哲朗さんの父親(虎蔵さん)と父(獣医)、もう1人牛

の扱い方に詳しい人と、3人で高山から送られた牛を下呂駅から歩いて連れて来て、その一頭が7頭に増えたのか?我家の酪農スタートとなつたらしい…この辺の話は、おいおいする事として、とにかく家には人の出入りもあったり家の周りには退屈しない遊び場(自然)が有り、母はこれも祖父のプロジェクトで加子母職業婦人目指してみたいなで学校に勤務してたので、私は、祖母と叔母たちの世話になり、3人のお母さんと本当の母親から色々学びながら育った気がする。
家族や、この家での、もう過去になった話を、桑原家の古文書のその後と言うか、哲朗さんに頂いた、古文書をまとめた本を読ませて頂き、記憶と繋がる感じがして、少しずつ、書かせて頂きます。



From the Fields

小郷の畑から～なかよし家族 丹羽泰子

急に夜温が下がりました。毎年「まだ暑い」と油断して、気がつくと最低気温が10度 さつまいもは10度を切る前に掘る、と決めているけど、毎年慌てて掘る羽目に。そしてこの時期は大豆の枝豆があつという間に終わり、黒豆の枝豆が採れます。25年前に農業を始めた時、枝豆が大豆の若取りと知って驚愕。自分で作った農産物を食べていたら、冬の間は夏野菜はもちろん、玉ねぎ、にんにくも無い と気がつき、数年は玉ねぎ採れる5月くらいまで玉ねぎ無しで。今はもう「無いものは買う」ようになったけど、懐かしい初心者頃のこだわりでした。



Editor's Note

編集後記／秦雅文

明治座130周年の記念誌を今年の歌舞伎に間に合わせようと編集に取り掛かってから半年かかりましたが、なんとか完成しました。明治座に関わってきた人がそこで何を思ってどんなことをしてきたのかをありのままに並べたかったのです。是非、購入してご覧ください。地歌舞伎やコンサートなどが続いていくには、守っていく意識では続かない。常に新しく変わっていく必要があると思います。でも変わっていくには、これまでの人たちが何をしてきたかを知る必要があります。

無くなってしまう前に行動しないと手遅れになります。「明治座で地歌舞伎をやった人たちが昔はいたそうです」なんて言われるのはもっともっと先にしたいですから、この本が興味を持って行動を起こすきっかけになることを願います。取材をしていくと、すでに手遅れに思えることも多く、もっと早く行動すべきでした。見ているだけじゃわからないことも取材をして形にすることでわかることが多くあると実感しました。

私も60歳になり、還暦というのは人生の再スタートなので、ただ継続していくなんていうのには興味が出ません。

「かしも通信」も満20年をもちって再スタートを模索中。

かしも通信
2024年10月25日発行 No.235
Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Ichihashi Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Niwa Junichi
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko

Cooking



かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介！色には文化があらわれる

ローゼルジャム

5年前に絵手紙教室に花のローゼルを持ってみえた。初めて見て、描いて種をもらう。毎年咲かせていた。昨年ぐらいいから加子母でも見るようになりました。バケツ一杯に実を採りました。実の皮を剥いてジャムを作ったら綺麗で美味しい。ハマってしまい3回作り友達に試食してもらった。大好評。イチゴジャムより簡単に出来ます。

作り方

1. 実をとり、洗って実の皮をとる。
約240g位とれる
2. 皮と砂糖50%いれる(120g)
3. 水100cc入れて煮詰める。ドロツとしたら出来上がり。

ポイント

- 実は大きいものがいい
- 水が少ないと皮が残る。少し煮るとねばりが出てきてすぐかたまる。
- 酸っぱいのでレモンを入れなかった。

喉、咳の改善にいいそうです。
お湯を入れて飲むのもおしゃれ。
赤い色で優しい飲み物です。



加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井三月 ☎ 0573-79-2627

小郷 けいちゃんの

こざと

お持ち帰りも好評です！

Tel: 79-3618

(サブロクジュウハチ)

定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財)岐阜県消防設備協会会員

消火器の点検、販売、
廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の
訪問販売にご注意を！

Tel.79-2285



Child of Kashimo

かしもっ子だよ全員集合！

加子母中学校

加子母小中合同運動会

10月5日(土)は、前日から雨が降り続き、運動会ができるかどうか、判断に迷う空模様でした。決定時刻も6時から6時30分に変更しました。一度は上がった雨も、10時から降り始めるという予報でしたから、プログラムの変更等も行いながら実施することになりました。今年度は5月21日より小中学校班別交流会(小中交流会)を行い、たくさん、交流ができた状態からの小中合同運動会だったため、係会も競技練習も小中学生が互いに声を掛け合い、時にはハイタッチをして楽しみながら活動する場面がしばしばありました。運動会本番もいつもと同じように団や係会ごとに声を掛け、喜び合って進めることができました。時間が経つにつれ、天気予報に反して、暑いくらいの秋晴れの中で運動会を行うことができました。
*天候を考慮して、当日、急なプログラム変更がありましたが、たくさんの方のご理解とご協力により運動会が行うことができました。ありがとうございました。



加子母小学校

森のことを学んだワークショップ

加子母小学校の4年生は、総合的な学習の時間に加子母の川や森など自然環境について学習しています。
9月25日、26日には、子供たちが森や木々に興味関心をもてるようにと、木匠塾の学生のみなさんがワークショップを計画してくださいました。
学校の隣にある「学びの森」で、ブラックボックスを使って木についてのクイズや観察を楽しみました。その後は、ヒノキの樹皮や朴ノ木の葉を使った草木染めにチャレンジしました。模様をつけて染めた素敵な巾着袋ができました。その他にも、樹木の特徴を調べる「森のハンター」や草木カルタ等、たくさんの活動を体験しました。
大学生のお兄さん、お姉さんと一緒に身近な森や木について学び、いっぱい遊んでも楽しい時間を過ごすことができました。
子供たちのすぐそばにある自然ですが、意識を向けることは案外少ないのかもしれませんが。今回のワークショップを通して、加子母の森や木をより身近に感じ、今後の学習への意欲が高まりました。



加子母こども園

祖父母参観がありました

9月13日(金)は祖父母参観日でした。一緒に住んでいるおじいちゃん・おばあちゃんから普段は遠くに住んでいて、なかなか会えないおじいちゃん・おばあちゃんまで、たくさんの祖父母の方にご参加いただきました。当日を迎えるまでプレゼントを作りながら、とても楽しみにしていた子ども達です。1番はじめは全園児で歌をうたい、りんご・うさぎ組、たんぼぼ組、ぞう組と順番にリズム体操を披露しました。祖父母の皆さんは子ども達を温かく見守ってください、リズムが終わるとたくさんの拍手をおくってくれました。
2番目は「おじいちゃん・おばあちゃんコーナー」。来てくださるおじいちゃん・おばあちゃんの中から子ども達の前で素敵なことを披露して下さる方を募りました。3人のおじいちゃん・おばあちゃんが快く引き受けて下さり、お絵描き・日常で使えるロープの使い方・マジックを披露していただきました。子ども達は身を乗り出し、大喜びで見っていました。3番目は一緒に触れ合い遊びをしました。そして最後に子ども達からプレゼントを手渡しました。短い時間でしたが、一緒に楽しい一時を過ごすことができました。



【加子母・付知子育て支援センター くるりんば】

自由にあそべるスペースです。体を動かしたり、季節を感じるイベントも行っています。カレンダーやイベントの詳細はLINEまたはインスタをチェックしてくださいネ!!
インスタは「くるりんば」で検索をお願いします。



11月の行事予定		
1	金	【中学校】PTAあいさつ運動
2	土	
3	日	文化の日 第23回岐阜県獅子芝居公演(明治座)
4	月	振替休日
5	火	乳幼児なんでも相談(付知福祉センター) 【こども園】年少懇談会 【小学校】1年生生活科見学 【中学校】スクールカウンセラー来校(午後)
6	水	【こども園】年長木育 【こども園】年少懇談会 【小・中学校】PTA本部役員会
7	木	【こども園】年少懇談会
8	金	【こども園】七五三交流(2歳児) 【こども園】未満児懇談会 【中学校】歯科指導
9	土	
10	日	大型ごみ(9～13) 加子母教育の日(AM)
11	月	【こども園】身体測定
12	火	【小学校】2年生生活科見学 【中学校】職員研究発表会参加のため早帰り
13	水	
14	木	BCG 予防接種(福岡保健センター) 【こども園】避難訓練 【小学校】4年生社会科見学
15	金	6か月児相談(福岡保健センター)
16	土	【こども園】家族参観日
17	日	軽トラ朝市・野菜品評会(9～12道の駅第2駐車場) 不燃・硬質・資源ごみ(16～17)
18	月	【こども園】1号認定振替休日 【こども園】年中懇談会 【中学校】委員会 【中学校】スクールカウンセラー来校(午後)
19	火	1歳児相談(付知福祉センター) 【こども園】年中懇談会 【小学校】就学時健康診断
20	水	【こども園】年中懇談会 【中学校】職員研究発表会参加のため早帰り
21	木	【こども園】年中懇談会
22	金	3歳児健診(福岡保健センター) 【こども園】老人クラブ交流会 【こども園】年長懇談会 【小学校】5年生すご技プロジェクト
23	土	勤労感謝の日
24	日	
25	月	区長会(14～) 【小学校】不審者対応訓練 【中学校】3年生三者懇談
26	火	【中学校】3年生三者懇談
27	水	【こども園】誕生日会 【中学校】3年生三者懇談
28	木	がん検診(付知福祉センター) 【中学校】栄養職員による食育指導
29	金	【こども園】歯科検診 【小学校】6年生社会科見学 【中学校】3年生三者懇談 【中学校】1年生すご技プロジェクト
30	土	

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。
みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。（加子母総合事務所:0573-79-2111まで）

やさい品評会と販売会のお知らせ

かしの野菜自慢、やさい品評会が開催されます。自慢の野菜たちを出品してみませんか。
たくさんのご来場お待ちしております。

■日にち 令和6年11月17日(日)

■会 場 道の駅加子母第2駐車場 軽トラ朝市会場内

【品評会】対 象 者 加子母地域で野菜を作ってみえる方

出品受付 午前8時～午前9時(直接会場へお持ちください)

午前10時より出品された野菜の審査が行われ表彰式が開催されます。

【販売会】販売開始 午前10時30分～

★お問い合わせ先 加子母総合事務所 0573-79-2111

図書室だより

【11月おすすめ図書】

■署長シンドローム(著:今野 敏)

「隠蔽捜査シリーズ」でおなじみの竜崎伸也が大森署を去った後、さっそうとあらわれた新署長・藍本小百合が、凶悪事件を解決する物語。「隠蔽捜査シリーズ」と若干異なる作風!?をぜひお楽しみ下さい。

■私たちの世代は(著:瀬尾まいこ)

誰もが何かしら制限や思い通りに過ごせない日々を過ごしていて、そしてこれからも、また逢う日々に向かっていかないといけない…。そんな中ほんの少しでも明るいものを差し出すことができたと、作者が願い描いた物語です。

■親子で話そう性のこと(著:高山恵子・佐々木睦美)

性教育は自分や相手を大切にしながら幸せに生きていくもの。でも照れもある子どもにどう教育していいかわからない…。性教育の入口にとまどっている親や子育てに関わる皆さんへ、年間約80もの講座を実施するプロが教えてくれます。

■中学生からの絵本のトリセツ(著:川口かおる)

絵本と聞いて、あなたは何を思い浮かべますか?小さい子が読むもの?いえいえ、絵本には年齢制限もなければ、「読む」以外の楽しみ方、使い方が実はいっぱいあるんです。この「トリセツ」では、絵本の新たな魅力を古今東西の絵本をとおして紹介します!

■かきのみぼうや(作:よこみちけいこ)

渋柿があまい干し柿に変身するまでを、かきのみぼうやの気持ちになって楽しんでもらえる絵本です。かきの季節となりました。この絵本を読んで秋を感じてみてはいかがでしょうか?

加子母の人口と世帯数(令和6年10月1日現在)

世帯数:942世帯 男:1,157人 女:1,189人 計:2,346人